

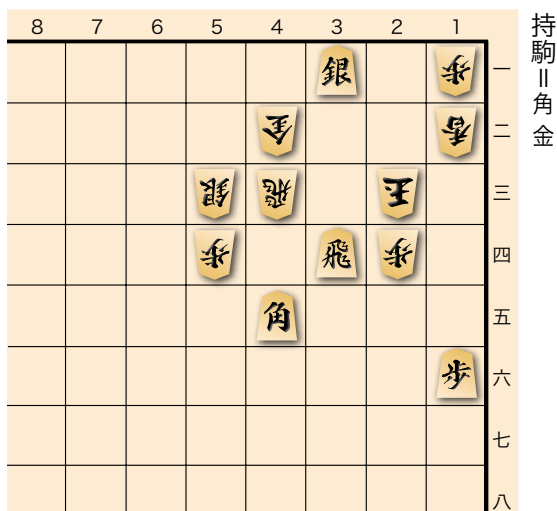
# 次の一手

## 答え合わせ

〈第15局〉

### 詰将棋 問題 5手詰 (5分で初段)

**ヒント** 飛車は捨てます



〈監修〉中田功七段

### 詰将棋 答え

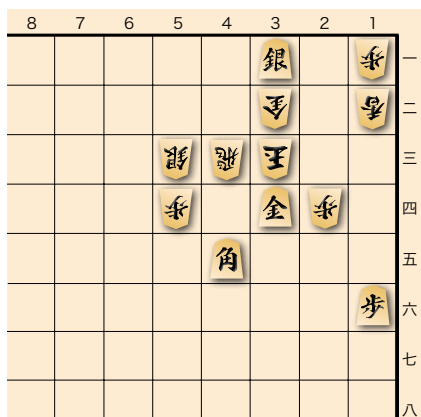
▲ 3 二角▽同金▲ 3 三飛成▽同玉▲ 3 四金  
(▽ 1 四玉▲ 1 五金) までの5手詰め

中田 功 (なかた・いさお)

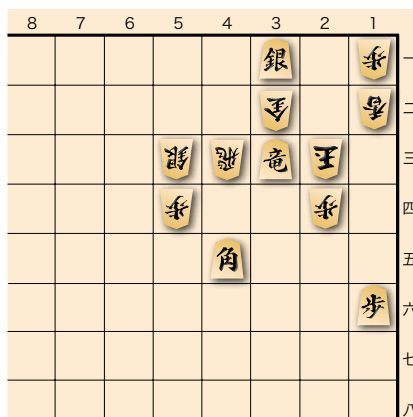
1967年7月27日生まれ。福岡市出身。  
第5回中学生名人戦優勝。80年、師匠(故)大山康晴15世名人門下として奨励会六級、83年初段、86年4月四段、90年3月五段、98年8月六段、2005年10月七段、11年現役勤続25年表彰。弟子に佐藤天彦名人。人生の指針となる言葉「一期一会」。



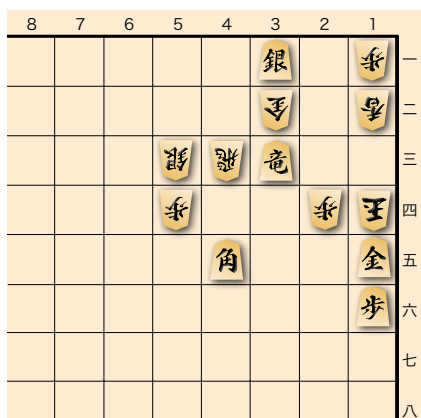
### 詰め上がり図



### 途中図



### 詰め上がり (別図)

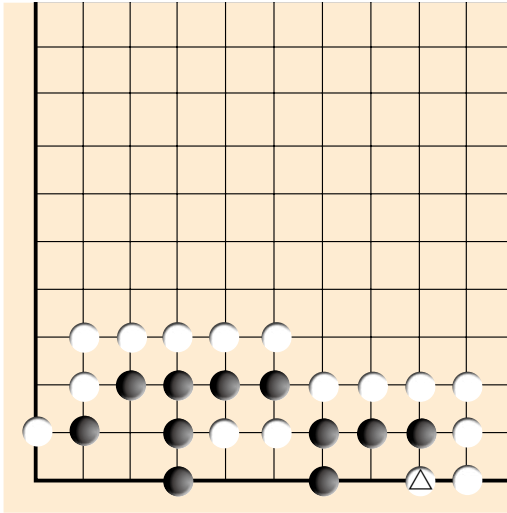


(解説) 初手 3 二角は俗手に見えるが、次の 3 三飛成 (途中図) を決め手にするための巧手

## 詰碁 問題 黒先黒活 (10分で初段)

### ヒント

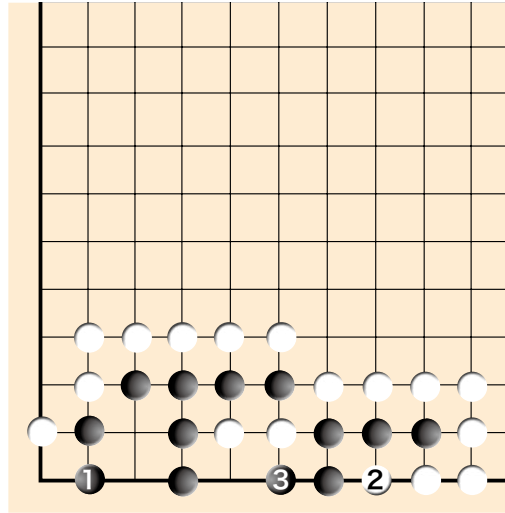
白△で黒ピンチ?いえいえ、おめでたいお正月です。余裕綽々ご馳走をふるまい、一団を安泰にしてください。



〈監修〉大淵盛人九段

## 詰碁 正解図①

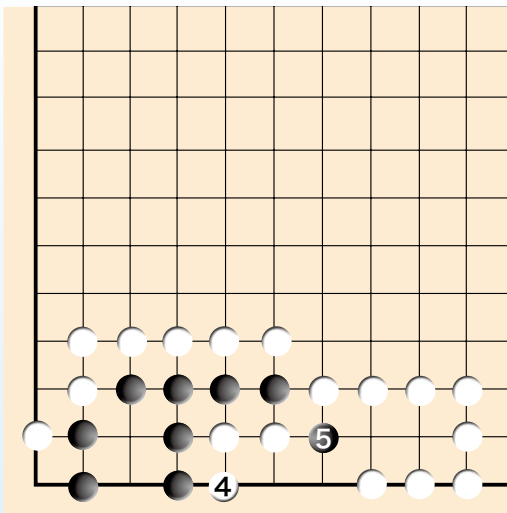
おすまし顔の黒1、次は気前よく黒3



まず黒1で一眼確保します。勿論白は2と黒石を取りに行きますが、黒3がおせち料理にお屠蘇を添えておもてなしです。

## 詰碁 参考図②

これぞ“石の下”



白は4と大ご馳走の黒石を美味しく召し上がり、そして…取り跡に黒5の手!黒3、5の手順が石の下と呼ばれる妙手です。白3子がお年玉となり、めでたく黒活きました。

“石の下”一度は対局で打ってみたい華麗な手筋ですね!

## 大淵 盛人 (おおぶち・もりと)

1965年8月10日生まれ。福岡県柳川市出身。

中1で碁を覚え、1981年4月上京、大枝雄介八段(当時)に入門を許され約8年内弟子修行を経験する。83年入段、97年九段。棋士養成機関で師範を長年担当。日本棋院常務理事。門下生に内田修平七段、奥田あや三段他。

人生の指針となる言葉「サムエル・ウルマンの『青春』」。

